

## 第12回 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2023年1月25日（水） 9：30～10：22	
開催場所	町田市立鶴川第二小学校 1階 ランチルーム（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	中村委員、早稲田委員、田中委員、成海委員、大川原委員、吉川委員、大塚委員、廣田委員、陶山委員、市川委員、○鈴木委員 （○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

### 議事内容

#### 1 開会

会長代理 本日は会長がご欠席のため、「町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領」に基づき、副会長である私が会長代理として本日の検討会を進行する。

#### 2 第11回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

項番2「鶴川東地区の新たな学校に建設する仮設校舎について」では、鶴川東地区に建設する新しい学校の工事期間中に子どもたちが学校生活を送る仮設校舎について、第4回検討会において配置案を2案お示したところ、仮設校舎の期間中も子どもたちの運動スペースをできる限り広く確保してほしいというご意見をいただいていることを踏まえ、工事期間をとおしてできる限りグラウンドを広く確保できるような配置案を引き続き検討してきた。その結果となる配置案及び現時点で想定される工事スケジュールについてお示ししご意見を伺った。

項番3「鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書（案）について」では、本検討会の報告書の取りまとめに向けて、報告書の全ての記載案について事務局から説明をさせていただき、修正すべき部分や追記すべき部分、また、よりよい表現の仕方はないかなどについて、ワークショップ形式で皆様にご意見を伺った。

通学の負担軽減、通学路の安全対策については、おおむねこれまでの議論の内容が記載されているというご意見をいただき、さらに現時点で考えられる具体的な方策を挙げていただいた。

施設整備内容については、新しい学校において整備すべき個別の施設内容についてのご意見のほか、地域の避難施設としての役割を果たせるような施設として整備することを記載するべきとのご意見があった。また、工事期間中も子どもの成長等を考え、より一層の安全の配慮をお願いしたいとのご意見があった。

子どもたちへの配慮については、現在の両校で行っている取組、授業などをお互いに伝え合う合同授業を行うのはどうか、というご意見や、新しい通学路と一緒に

歩いてみることなど、具体的な取組のご意見をいただいた。

新たな学校名(案)については、本検討会の議論の結果は意見募集の結果や各委員の皆様のお考えを踏まえた選定をしてほしいということであって、検討会の意見の記載部分について、本検討会の考えを超えたニュアンスに受け取られるような記載はやめたほうがいい、というご意見をいただいた。

歴史の継承については、デジタル化して保存する際などの具体的な方法について多くご意見をいただいた。また、報告書の表現内容について、同じことを言っているのに文章の表現が違う部分があるので、そこは統一したほうがいいのではないかとといったご意見のほか、学校の歴史だけではなく鶴川地域の歴史を残していくということも大事な視点ではないか、というご意見があった。

残りの検討項目では、PTAの記載について、新しい学校のPTAを考えるに当たっては、そもそもPTAの在り方をどうするか、PTAとはどういったものなのか、というところから話し合ったほうがいいのではないかとご意見をいただいた。また、学校に協力してもらえたい人材を増やすという観点から、同窓生や地域住民の方が学校に協力しやすい仕組みをつくっていきたいというご意見もいただいた。そのほかについては全体的にこのままでよいというご意見であったため、今後、統合に向けて考えられる検討課題などについて意見交換をしていただいた。

最後に、これらのご意見を踏まえた報告書の加筆、修正内容は会長にご一任いただくということを皆様にご了承をいただいた。

### 3 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書(案)について

新たな学校推進課 (資料2説明)

説明に先立ち、これから説明する報告書の前回検討会からの修正箇所、修正内容及び最終的な報告書の形については、本日、ご欠席されておりますが、全て会長にご確認いただいていることをあらかじめお伝えする。

まず、報告書の体裁や検討会での委員のご意見以外の部分についての修正等について説明する。全体的な構成を報告書としての体裁を整えるため、並行して検討を行っているほかの地区の報告書と合わせ、目次やページの構成を見直した。

目次について、字の大きさや太字にするなどの体裁を整えたほか、第2章の各検討内容の見出しを、これまで「新たな学校の通学負担の軽減」や、「新たな学校の通学路の安全対策」としていたが、いずれの検討内容も新たな学校に向けた検討なので、「新たな学校」の部分削除しシンプルな見出しにした。

また、新たな学校づくりに関連する事項として市役所の各担当部署から検討会で説明した学校跡地、避難施設機能、学童保育、特別支援学級に係る内容は、これまで第1章に記載をしていたが、検討内容の一つとして第2章の最後に記載することとし、第2章の一番下に「11 その他新たな学校づくりに関連する事項」という項目を28ページ以降に新しく設け、検討会でいただいたご意見も追加して記載したのでご確認いただきたい。

そのほか現在検討を進めているほかの地区の検討会でいただいたご意見等も踏まえながら、各検討内容の前提となる基本的な部分になる見出し下のリード文の部分の文言の見直しや、あとは図表を大きくするなど、報告書として見やすくするための修正を行った。

続いて、前回検討会での皆様のご意見を踏まえて記載内容を追加、修正した箇所について説明する。

「はじめに」をご覧ください。「はじめに」では、町田市新たな学校づくり推進計画が策定されてから本検討会が開催されるまでの経緯に続いて、委員の皆様には本当に多くの課題に対して、新しい学校の子もたちのことを考え積極的にご意見、ご提案をいただいたこと、その中で、地域の皆様と1つになって文化と歴史を紡いできた鶴川東地区の両校の伝統を感じるが多かったこと、そして、最後の締めくくりとして、地域の皆様の熱い思いを一つに束ねた、さらに発展していく新しい学校ができることを強く願っている、と本検討会を振り返ってのご感想を会長にご記載いただいた。

次に、第2章の各検討内容の記載内容を追加、修正した箇所を説明する。

施設整備内容の「(2)仮設校舎について」では、仮設校舎で生活する期間は様々な制約があるが、その中でも児童の安全を確保できるようにしてほしい、というご意見を、主なご意見の欄に追加した。

また、「(3)新たな学校の施設整備に向けて」では、地域の避難施設としての役割を果たすことも重要とのご意見を踏まえ、「地域の避難施設としての役割も十分に果たすことができ」という文章を追加した。また、工事期間の安全確保に対するご意見を踏まえて、対象を児童だけではなく学校関係者にも広げ、安全及び生活環境にも配慮してほしいという形で2段落目の冒頭に文章を追加した。

続いて、鶴川東地区新たな学校名(案)について、検討会の議論の結果は意見募集や検討会委員の思いを踏まえてほしいというご意見であって、検討会の選定結果を最優先にすべき、というものではなかったため、そのようなニュアンスに捉えられかねない表現は避けたほうがよい、というご意見を踏まえ、「(4)学校名(最終案)の選定に向けて」に記載していた「教育委員会の考え方だけでなく」という表現を「教育委員会の考え方に加えて」に修正した。

また、検討会の議論の中で鶴川西地区との整合性を図った新しい学校名にしたほうがいいのではないかと、というご意見を多くいただいたので、ここで鶴川西地区の検討会で選定された新しい学校名3案を報告する。

鶴川西地区の新しい学校名3案は、鶴川西小学校、鶴川中央小学校、鶴川つるの台小学校が選定されている。なお、新しい学校名は意見募集や検討会のご意見を踏まえ、教育委員会において最終的に選定することを改めてお伝えする。

続いて、歴史の継承について、デジタル保存という記載とデジタル化して保存という記載が混在していて分かりづらいといったご意見を受け、デジタル化して保存という記載に統一した。また、両校の歴史だけではなく鶴川地域の歴史も継承でき

るような工夫もできないか、というご意見を踏まえ、「(3)歴史の継承に向けて」の1行目の最後の部分から、「鶴川地域の歴史を理解し継承していくことができるような配慮や工夫」という記載を追加した。

続いて、育てたい子ども像について、子どもたちのために新しい学校においては地域の大人が学校運営に関わりやすい環境を整えてほしい、というご意見があったことを踏まえ、「(3)教育目標の策定に向けて」の部分に、「これまで以上に地域の大人が学校運営に参加しやすい仕組みを検討すること」という記載を追加した。

最後に、PTAについて、新しい学校のPTAを考えるに当たっては、PTAのあり方をそもそもどうするか、という部分から検討してはどうか、とうご意見をいただいたことを踏まえ、「(2)鶴川東地区の新たな学校のPTA活動について」の冒頭の部分に、「新たな学校におけるPTAのあり方をどのようにすべきかを含め」という記載を追加した。

(各委員からの意見なし)

会長代理            今回の確認をもって鶴川東地区の新たな学校づくり基本計画検討会報告書の内容を確定する。この報告書を本検討会の意見として、後日会長から教育委員会に提出する。

#### 4 今後のスケジュールについて

新たな学校推進課    (資料3説明)

会長代理            これで本検討会の全ての検討項目について議論が終了した。しかし、学校統合に向けての準備はこれからがスタートで、次年度以降も新たな学校づくり推進会という組織を中心に様々な準備を行っていくが、この検討会において皆様にご議論、ご検討いただいた内容がその道しるべとなる。そのような重要な役割を担っていただきました皆様に1年間を振り返ってのご感想、これからの学校統合について、新たな学校づくりに向けての思いなどについて、一言ずつお話しいただきたい。

委員                 1年間、大変お世話になりました。

検討が多くの項目にわたった中でも、個人的にはとても速いスピードで検討が進んでいったなと感じる。昨年末、鶴川第二中学校の校長先生とお話しさせていただく機会があり話題になったが、新しい学校づくりはこれから中学校についても行われていく。その検討においても、私どもが1年間かけてやったものが土台になって、新しい考え方などを加えてよりよい方向に変化、変更、改善していただけたらなと思う。

鶴川地区の小学校、中学校のOBであることで、いろんなご縁をいただきこれまで学校に関わってきたが、検討会で皆さんの意見を聞くと、ああ、そうだったのか、と思うことがたくさんあった。ぜひいい学校づくりをしていただき、50年後に次の世代が喜んでくれる学校になっていただければ、と願っている。

委員 1年間、振り返ってみるとあっという間だったなというのが正直な感想である。この検討会に関わって、鶴川地区の小学校、中学校のOBの方とか、地域の方が本当に鶴川地区を愛しているんだな、というのをすごく感じた。そのように愛されている地域で育つ子どもたちは幸せだな、ということもすごく感じたので、これからも保護者として一緒に見守って行って、地域の方々にも見守っていただけたらな、と思う。1年間、ありがとうございました。

委員 1年間、どうもありがとうございました。  
検討会に1年参加して、検討する場だったとは思いますが、どちらかというところすごく勉強になった1年だったなと思う。皆さんで検討をしたものが新しい学校づくりに反映されて、子どもたちも喜んで、地域の方もすごく喜んでくれるような学校になるといいなと思う。

委員 皆さん、本当にお疲れさまでした。  
検討会の資料を全て綴じているが、半分の6回分でファイルがいっぱいになった。全部でこの倍ぐらい資料を検討してきたということだが、本当に1年あっという間に過ぎたと感じる。皆さんから貴重なご意見を伺うことができ、新しい学校のために皆さんとこんなに熱い会議をできたことが本当に感動的だった。

今後6年間、また別の会議体として引き続き様々なことが検討されて新校舎が開校されるということだが、関わる全ての方のご意見を反映するのは無理だと思うが、その中でベストと思える方向に向けて、市と学校と地域と関係者の皆さんが連携して、よりよい新たな学校づくりを目指して進めていただければありがたいと思う。

委員 長い間、お疲れさまでした。ありがとうございました。  
子どもたちの安全安心を守るために、教育委員会もいろいろ苦勞していただいたと思う。検討内容をそれぞれ見ていくと、かなりまとまった内容であるように思う。中には、今後、さらに議論を深めていく必要がある事項もあるが、これからますます内容の濃い新しい学校にしていきたいと思っているので、引き続き検討の場に参加させていただけるとあって楽しみにしている。

委員 皆様、1年間本当にご苦勞さまでした。  
私もいろいろ学校と接触をさせていただいているが、この検討会をとおして内容の深い、様々な問題を知ることができた。この1年間、検討会の一員として参加させていただいたことを誇りに思っている。

委員 1年間、ありがとうございました。  
私は息子が小学校に上がるのと同時にこちらに越してきた。その後、町内会活動やら地域の活動に協力して現在に至る。

私は今、教育関係に勤めていて、学生数が突然増えたりして校舎の規模が小さくなって人が入らない、という状況が発生しているということも経験した。今回の検討会では、将来的に未知の部分もあって、今後、何年か経った後に、また改めて検討し直さなければいけない事態が発生するかもしれないので、そういったことを踏まえて、検討をあまり掘り下げすぎなかった部分もあると理解している。

地域での自分の活動をとおして最近思うのは、世代によって子どもに対する考え方が違うんだなということ。世代によって子どもに対する教育理念がやっぱりずれているんだなというのを時々感じる。そういった部分を、それぞれの考え方のいいところを取って、新しい学校がつくられていくのが望ましいのかなと思っている。

委員

1年間、皆様ありがとうございました。

この検討会に参加して、すごく勉強になることがたくさんあって、正直、学生のような気持ちで参加をさせていただいた。いろんな立場にいらっしゃる方がいろんな角度から新しい学校のためにいろいろ検討するというのは、なかなかないことだと思うので、この貴重な機会に参加できたことを幸せに思う。

新校舎がどんな学校になるかな、と楽しみにしています。

委員

1年間、お疲れさまでした。

検討会参加のお話を伺ったときは、あまり意見が出せないかなと思ったが、これまでの子育ての経験とかも話せたのでよかったと思う。子育てのときは自分1人だけで育てているような気分だったけれど、やっぱりこういう話し合いでいろんな方々のお話を聞いて、自分だけじゃなくて、いろんな方々の手とか、知恵とか、いろんなことをいただきながら子どもが大きくなっていったんだなと感じた。

今後も地域の人材的な形で協力できればと思っている。

委員

皆さん、お疲れさまでした。

現在、鶴川第二小学校や鶴川第三小学校の子どもの前で話をさせてもらう機会がある中で、ぜひ世界で活躍する人材になってほしいという話をする。その中で、どの国でそういう会話になったとしても、どこで生まれて、どんなふうに育ったのはという話になったときに、日本の東京の町田の鶴川というところで育ったんだと、自分たちが通っていた小学校、中学校はこういうところだった、ということを世界中の人にちゃんと話ができるようにしてほしいということと、そのふるさとを僕たちも一緒に守るからねという話をしているが、恐らく町田市民にとって、地域のシンボルは学校だと思う。どこに心のよりどころがあるかということ、やっぱり学校だと思うので、新しい学校を考えるためにこうやってみんなが集まることが一つにつながる本当に大きな核になると思うので、引き続き、皆さんと検討して実行に移せばなと思っている。

あともう一点は、子どもが減るという前提の会議を私たちはしている。しかし、地域としての一番大きな目標、目的は、鶴川は人口が減らない、鶴川には人口が増えている、もう少し広い意味合いでいうと、川崎とか、相模原は減っているけれども、町田市は人口が減らないということで、地域の皆さんは本気で取り組んでいると思っている。ですから、1回は未来の子どもたちが減ることを想定して学校を統廃合していくわけだが、地域としてどうやって人口を減らさないか、ということをもう少し同時に考えていく必要があると思う。そして、そのシンボルがまた学校なんだろうと思うので、そのような考えも織り交ぜながら、今後も取り組んでいければなと思っている。

会長代理               ここで、会長のご感想や思いを事務局が預かってきているので発表する。

新たな学校推進課   会長からは、まず委員の皆様、本当に1年間お疲れさまでした、どうもありがとうございましたというお言葉をいただいている。

会長として進行をされる中で、12回にわたる検討会を無事にやりとげられたのは、委員の皆様の建設的なご議論おかげであり、報告書のはじめにの部分にも書いていただいておりますが、地域の皆様と学校が一つになって文化と歴史を紡いできたこと、そういった伝統を感じられることが多くあったとおっしゃっていました。

それから、委員の皆様をはじめ地域の皆様に愛されて培われてきたものというのを、これからの新しい学校にも引き継いでいけるような、そういう学校にしていきたいということを思っている、というメッセージをいただいた。

会長代理               最後に、私からも感想などを申し上げさせていただく。

最初の頃は、学校統合について本当はちょっと寂しい思いで参加していた。しかし、検討会を進めていく中でこれだけ地域の方々が本当に熱い思いで、今の学校いいところ、学校をこんなに愛しているんだよ、地域にとって大事なんだよということがすごく伝わってきて、地域の中の本当に愛されている学校だったということに改めて認識をさせられて、その学校だったら新しくなっても大丈夫じゃないかという思いに変わっていった。

やはり子どもたちにとってよりよい環境を残してあげることが一番であって、子どもたちが本当に未来に向かってきちんと成長していける学校であること、それから、地域や保護者の方の思いを乗せた、地域の方々と一体となれる学校であること、そのような思いを大切にこれからもやっていきたいと思う。

この前、他市の方と学校の統廃合について話をしる機会があったが、町田市はすごく大胆に思い切って進めていてうらやましい、と言っていた。検討開始からずっと、後ろ向きではなくとても前向きな姿勢、「新たな学校づくり」という言葉に表れているが、それをすごく貫徹しているということがすごくよく分かる検討会だったと思う。よりよいものをみんなで作ろうよと、子どもたちのために今よりもっといいものという議論だった。だから、これからもその思いで進めていけば、きっといい学校が出来上がると私は思っている。今後ご協力よろしくお願ひしたい。

学校教育部長               町田市教育委員会学校教育部長の石坂です。

検討会委員の皆様におかれましては、2022年1月から全12回のご検討のなかで、忌憚のないご意見をいただき、誠にありがとうございます。時には暑い中に通学路点検にご参加いただき、また、時には今日のようにここ数年来で一番の寒さの中お集まりいただいた。

この検討会での議論では、通学路の安全点検のような今すぐにでも対応しなければいけないことや、これからの学校の運営の組織をどうしていったらいいかや施設の開放の関係、そのほかにも、保護者組織の合流をどうしていったらいいかといった、これからまだまだ考えなければいけないことについても、この検討会で検討の端緒をしっかりと整理していただいた。

本検討会は本日をもって閉会となるが、2023年度以降も引き続き新校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、仮称ではあるが、鶴川東地区新設小学校新たな学校づくり推進会を設置して、保護者代表、地域代表、学校代表の方々と本事業の進捗状況を確認していくとともに、その時々に必要な意見交換を行わせていただきたいと考えている。

引き続き、皆様のご協力を重ねてお願いして、お礼とさせていただきます。1年間、どうもありがとうございました。

## 5 閉会

会長代理

(閉会のあいさつ)